京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

雜報

郵便貯金利用に就て（上）
（矢野業務課長談）

郵便貯金の必要とか又其の利益とかに就ては最早說明の要なかるべしされば今回は種々の目的に利用せられたる郵便貯金に關し面白きものと信ずる二三の利用法を陳述すべし

▲旅行紀念の郵便貯金　日本政府所轄の通信官署にして郵便貯金を取扱ふ局所は其の數凡そ七千有餘あり而して七千有餘の局所は日清韓の各地に普及せるを以て此三國內の何れの地方に赴くも郵便貯金の便宜あり、去れば右の各地方へ旅行する人士は各地方へ旅行したる紀念として各地の郵便局所に於て十錢とか二十錢とかの貯金をなし置くに於ては其の貯金通帳には各地の郵便局所印を押捺しあるを以て實に廉價なる好個の紀念品を得ると同時に知らず知らず貯金をなすことを得べし

▲博覽會貯金　來る明治五十年に於て東京に於て世界大博覽會の開催せらるゝことなれば同會の觀覽は何人も希望する所なるべし去れど其旅費としては多額の費用を要するを以て一時に全額を支出するに於ては多少の困難を感ずるの人なしとせずされば右博覽會の觀覽を欲するの士は左記の如く郵便貯金の一種なる規約貯金の方法に依るを最も便宜なりと信ず（一）同一の町村內又は或る團體內の有志者相謀りて一の組合を組織し名づけて博覽會組合と稱すること（二）同組合員は明治五十年三月に至る迄所定の金額を郵便貯金となすこと（三）同組合員は死亡又は脫退の場合の外は拂戾をなさゞること（四）同組合員は其の組合代表者を定め其代表者より規約貯金の取扱を受けんと欲する郵便局所へ宛て、組合の名稱、所在地、並に拂戾及組合脫退の承認に關する證明方法を記載したる請求書二通を差出し同局所の承認を受くべし、大略右の如き方法を以て規約貯金をなすに於ては明治五十年三月頃迄には其元利を合して博覽會見物に要する費額を所辨するを得べし此方法は現に高松郵便局管內に於て實行せられつゝあり頗る面白き方法なりと思はる猶此方法は日本ならば伊勢參宮とか韓國ならば日本漫遊とかに利用するもまた妙なりと信ず

官鐵の營業方針

▲旅順よりは貨物輸送　鐵道院が地方分權制實施と共に各管理局長をして盛に增收に努めつゝあるは人の知る所なるが而も其の第一期成績は豫じめ各管理局長に向つて與へたる收入豫定額に對して甚だしく不成績なりしより更に本年に入りては一層激勵を與へて其の局に當らしめたるも何分一方營業費は前年に比し幾分增加したりといふに止まり何等改良建設の事すら行ふ能はざるに反し一般の不景氣之に加はり更に本年度の營業成績も敢て十分なる成績を收むるに難き有樣を呈し居る折柄（勿論管理局中には幾分成績の良好なりしものあるも更に甚だしき不成績を示せるものあるより大體に於て不成績に終らんとしつゝあるは事實なり）沿道電車の頻々たる開業若くは計畫の爲に旅客收入前途益尠觀せらるゝに至るも之に對抗すべき有ゆる防衛的改良設備はいつも經費の不足に由りて之を施す能はざるのみか貨物收入も亦一般海運界の閑散と船舶の增加によりて其の方面に吸收せられ居る有樣にて是には管理局長も板挾となり內々營業難を喞たしむる內情なきにあらざるがさりとて國有後の大責任を有する當局としては固より斯る弱音を吹き得べくもあらず今は只管て後藤總裁の誓約したりといふ數年後に於ける鐵道資金の成るをせめてもの心待ちとして陰に前途の活躍時代を待つの外あらざるべくされば當面の營業方針としても固より現狀維持に過ぎざるも兎に角從來の成績に鑑みれば旅客收入は既に一定の限度を示し今後甚だしく吸收に餘地なく偶團體旅行及び臨時收入の途を講ずるも是には多大の割引の爲に甚だしき利益なく結局旅客收入は動もすれば收入豫算に比して減少するを例とし現に西部管理局の例を以てするも之れが不足額は常に貨物收入に於て補ひ居るが如き有樣なれば固より沿道狀況の如何によりて一樣の方針を示し難きも東海道、山陽線の如きは今後の收入增加は勢ひ貨物收入に待つの大なるものあるべく是に於てか鐵道院も此の現狀と沿道電車の開業等に鑑み旅客は主として長距離列車に重きを置き同時に貨物輸送に全力を注がんとの方針を有するに至れり蓋し鐵道の立場としては勢ひ斯る方針に出るを得策とするのみならず實際に於て貨物輸送は曾て山陽當時の營業方針を以てすれば今後十分に活動すべき餘地を有し居るは事實にて第一山陽線の大貨物運賃一哩一厘五厘に比し東海道線に於て倍額以上を徵し居るが如き不統一は偶營業の不成績を招き居る一大原因なれば今後は貨物賃金に向つても一大低廉を期して旅客收入の不足額を補はんとしつゝあり尤も其の結果として今後海運界との競爭は是亦勢ひ免るゝ能はざる所なるも是には豫じめ十分覺悟と決心とを以て迎ふべく何れにせよ鐵道の營業は今後十分なる改良建設を全うして活躍せざる以上は甚だ苦き境遇にありと當局者は語り居たり

地方通信

▲群山通信

▲全群道路修理　全群間の道路は築造後幾何もならねども泥土を以て造りたるものなれば少しにても雨雲降れば忽ち路面柔軟となり人車の通行は非常なる困難を來すことは全群間を往來したるものゝ知る處なるが今回韓政府は一萬數千圓を投じて之れが修理をなし泥土の箇所へはバラスを敷くことゝなりたり

▲全州內外道路修理　全州城內城外の道路も西門外北通り西通り昨年バラスを多量に敷きしと及兩側に雨水溝を設けし爲め今日にても降雨甚だしき時と雖ども人車の進行は非常に心地よけれども西門外北通り西門內の各方面には降雨の時通行困難の場處少なからず之等は地方費支辨事業として修理を加ふべしと云へり

▲漁業根據地と飮料水　群山近海の主なる漁業根據地中蝟島其他にて出漁者の希望を容れ昨年中已に井戶を穿鑿したるため出漁者は多大なる利便を得るに至りたるが尙ほ右以外の主要漁場にも漸次井戶の設備を普及せしめ廣く其利便を與へん筈

▲韓銀披露宴の盛況　韓國銀行群山出張所にては去る十日夜豐洲樓に李觀察使、天野理事官を始め官民各方面の重なる人々數十名を招待し披露宴を開きたり配膳了るや麻生所長は韓銀創立の經過より引繼前後の模樣及び一般開業當時より昨年に至る八ヶ年間の事業進步狀況を數字を擧げて說明し終りに營業方針につきても述ぶる所あり之に對し天野理事官は來賓を代表して謝辭を述べ夫れより獻酬に入り酒間行員一同は變裝して席に上り一場の喜劇を演じて興を添へ最後に福引の餘興あり近頃趣味深き宴會なりき

日本銘刀傳
第四十四席　邑井一講演

庄「さうか、長兵衛は殺られた、彌作「ろくな事になッたわい」彌「それからどうした」花「御用々々といふ聲で、なか〳〵ねらいてッちや」彌「それぎりか」花「ヤヽそれでな其の時に俺が見て居たにやア、其の場に梅田の七造が走ッて來やはッて、上田はんにも又神樂はんにも、此處に居ちやア危ねね早う和歌山の龍右衛門の所に逃けろといふて、親分はんが書きやはッた手紙を渡しやはッた、さうでうれで上田はんも神樂はんも紀州に行ッたに違ひれまへん、彌作はこれを聞いて　彌「それぢやア上田や神樂は紀州に落ちたらう江戶奴安心しろ」庄「さうか、それでまア安心した、自業自得と言ひながら、あの住吉の松原で犬の餌食になるたア不憫なことだそれぢやア、これから直ぐ引返すとしやう、奉行に屆けて兩人の在所を尋ねて貰うことにして、紀州に逃げりやア大阪から滅多に手入はしやアしねえ、オヽ大きにれやかましう」ところへ向ふからゾロ〳〵やッて來る連中　庄「ヤイ〳〵、黑駒始め何處に行く〳〵」黑「これから住吉へ押出して……」庄「巫山戲たことをするない、もう住吉のことは濟じまつた、上田と神樂が鳴戶を始め殺ッちまッた」黑「ヘエー神樂の兄いと上田先生が鳴戶を殺りましたか、好い器量だな」「ねらいこッちや〳〵」と皆手を叩いて、其の儘日本橋へ引揚げた、此方は上田源之助に神樂の藤兵衛の兩人は、危い所を遁れて來て、紀州和歌山の岩口村の龍右衛門といふ人の家に先づ隱れた、此の龍右衛門は綽名を文珠といふ、背中に文珠の文身のある人、この人の所に足を止めて居ると、上田源之助は品行が誠に宜しい、神樂の藤兵衛は亂暴ばかり働いて居る人間でございます、それも滅多に此頃は表に出ない、弘化の二年春も經ち夏も過ぎて丁度冬、然るに大阪西成郡木津村の上坂仙太郎といふ者が、娘れさだを連れて高野山まで參り歸りに和歌山の權現樣を始めとして名所古蹟を尋づねまして、計からずもこの文珠の龍右衛門は緣類ゆね泊りました、上坂仙太郎といふものは、木津村の可なりの財產家、僕一人を連れて娘れさだを伴なつて來た、このれさだ今年十七、無邪氣い中に何んとなく淑かな所があり、麗しいこと譬やうもないのに、財產家の娘ゆね端手やかではなけれども、紬縞の衣類に緞子織の帶を締めさせまして、其の頭ゆるに羽織も着せず、島田髷の結び方も何んとなくやさしき風にして、何處やら大家の娘御と相見ゆるやうでございますから、和歌山の龍右衛門も非常に此の親娘を待遇す、上田源之助が見てハテ麗しい娘、又親御は品格の好いものだと斯樣思つて居ります、れさだも始めて上田源之助を見て、何處とやら好いたらしいれ方と思つて居りました、なれども別段斯うといふこともない、二日三日經つ中に、龍右衛門は上田源之助にも引合せた、すると上田源之助が二階に本を讀んで居ると何んの氣なしにれさだは二階に昇つて　さだ「御免遊ばしませ　源「これは〳〵木津の上坂殿の孃さん、まア此方にれ昇んなさい　さだ「ハイ、難有うございます　源「貴女は今度高野山の方へ　さだ「ハイ、高野山までに父が願ひ事があつて、此の寒さに向ッて參りました、れ祖父樣の白骨を納めまして、さうして立戾らうとして、寒いことは寒いけれども、廻りました和歌の浦玉津島といふ所は大層好い所で、始めて見ましてございまする」と言ふのも何にかの口の中、上田は最とも愛らしく思ひ　源「アヽれ娘御、何にか一つれ話をいたさうと斯樣存じて居つたが、貴女樣は木津にれ出でなさるか　さだ「ハイ木津に居ります　源「なか〳〵彼處は好い所でございますな　さだ「なに、好い所のもんでございませう、あんな寂しい所は仕樣がございません　源「アヽれ武家樣に伺ひますが……　さだ「木村重成といふ何んでござるな、貴方樣大阪中で聞いれ方だといふことを聞きましたが、當個にさうでございますか　源「先づ木村といふ御方は豪いれ方で。」



東京電報

▲演習と東宮殿下

三月六日より約一週間京阪地方に於て陸軍將官演習旅行擧行に就き東宮殿下には陸軍中將の資格にて同演習御實視の爲め同地方に行啓せらるべし

▲米觀光團の着期

第二回米國觀光團七百八十餘名は來る二十五日橫濱へ入港する豫定なり

▲新聞社と代理業

代議士鈴木總兵衛氏は近々政府に對し新聞通信社が物品を販賣し又は物品の代理販賣を爲すに對し政府は營業税を徴收し居るや否や若し徴收せずとせば如何なる理由を以て他の營業と區分するかを質問するよし(十六日)

▲現在銀行と資金

大藏省の調査にかゝる現在銀行數は二千百七十八にして之れが資本金六億四千八百五十九萬八千七百三十四圓なり之れを昨年末に比すれば資本金に於て五十三萬六千二百八十圓を減じたり(同上)

▲本溪湖炭山問題

本溪湖炭山問題は商議中奉天に於て日清兩國委員間に大体の商議纏まり細目に就ては本邦側に於て直接經營者と打合せを要するを以て目下大倉組と協議中なるが清曆政治始め迄には決着すべし(同上)

▲增俸割合の標準

官吏增俸は下級者に比較的多くの增俸を爲す衆議院の希望を容れ調査委員を設くべし其の結果平均高等官に二割判任官三割標準に決せん(同上)

▲增俸と滿韓官吏

臺灣滿洲樺太在任官吏にも同樣增俸すべきも加俸遞減せられ內地との均衡を保たする筈(同上)

▲韓國人の懇親會

京元湖南兩鐵道速成運動の爲め上京中の韓國人三十名は一致の行動を取る爲め來る十八日懇親會を開く筈(同上)

▲豫算案と貴族院

政府は豫算問題に關する貴族院硬派の鎭撫に苦心し潛かに各派の領首連を說きつゝあり形勢頗る危殆なり(同上)

桑港電報

▲醜業婦法案の內容

下院を通過せる同法案の內容は外國醜業婦排斥並に該雇主排斥及處罰を規定しあり尙移民法を改正し醜業婦輸入者に五千弗以下の罰金を科する筈也

北京電報

▲英國と澳門境界

英國は葡萄牙保護の位地にある關係を以て葡萄牙の澳門境界紛擾に關しては英國の仲裁に依るを最良策とすと注意したるが外務部は未だ何等の回答を爲さずと(十五日)

▲廣東の清兵暴動

其筋に達したる公報に依れば廣東の支那兵上官に不平を抱き將校の軋轢を生じたるより巡警と衝突し激戰の餘死傷百餘名に達したるを以て戒嚴令を施行中なり(十五日着)

▲寺垣司令官の急行

別項廣東暴動に就き寺垣第三艦隊司令官は軍艦宇治を率ゐて狀況視察の爲め同地に急行したり(同上)

▲廣東の秩序恢復

廣東に於ける亂兵は武器を放棄し退却したるを以て兩門開放され市街の秩序恢復せり(同上)

地方通信

▲侍從武官の出發

山根侍從武官閣下は無事巡視を終へ本日午前九時出帆釜山へ向ひたり(十六日)

雜報

韓皇と太廟展謁

韓皇には十六日午前十一時三十分展掛付の輦輿に乘じ各皇族、承候官、各部大臣、宮內官其他を從へ北墻門出御太廟に行幸あり展謁の式あり午後一時還御相成りたり因みに皇后と太廟は相近接せるを以て當日の鹵簿は前述の如く特別のものなりしと

關税局の官制改正
(關税總長の廢止)

關税局にては今般船舶法の實施と共に其事務を取扱ふこととなりたるに就ては之れに對する職員の增加と從來は關税總長の職を置きたるも今回は之れを廢止し局長を置くことに變更さるゝ筈にて十五日の參與官會議に於て決定したるを以て不日發表せらるべし

韓國の耶蘇教徒

統監府一箇年の經常費は僅かに三百八十萬圓の少額なるに拘らず在韓國英米獨の外國宣教師等が年々布教費に投じつゝある傳道費は裕に七百萬圓の巨額に達し殆んど統監府費用の二倍に達し居れり又た全韓國に於ける小學校數は二千餘校あり其の中過半數は彼等の手によりて經營し居るものにして其の行動に多少の非難なきにあらざれども其の勢力たるや統監府を凌駕するものあり最近の調査によれば韓國の教會數は總計八百八にして外國宣教師二百五十八人韓國人牧師四百なり而して其の信徒總數二十万に達し教會附屬學校のみにても三百五十校あり其の生徒は實に一萬五千人なりと某氏は語れり

順川暴動は排日

順川の暴動事件に付頃日同地を視察の上精密なる調査を遂げて歸省したる某氏の談話を聞くに順川地方の人民が今回の暴動を敢行したるは區々たる市場税の上納を拒絕したるに非ず其の眞因は政府の施設に反對なると排日思想を鼓吹せん爲め名を税金徴收の反對に假りたるものなることを知るに足れり今其の原因として調査したる左の數項を見れば如何に排日思想の盛んなるかを知るべしと云ふ

一、排日思想の益々盛んなるに至りしは特にハルビン事件並に李總理事件以來一層甚しきこと或る一派の人民と日韓人との間には常に交際無く互に反目の傾向ありしこと
一、同地方人民は万事政府の新設を嫌ふこと
一、財務署が地方費の性質を說明すれば地方の事業は地方の人民醵金して之れを爲すべし政府の厄介にならずとの抗辨をなしたる事(耶蘇教會及耶蘇教學校の例を引きて)
一、市場税の徴收に關係なき財務署員以外の日本人官民を慘殺せし事
一、日本商人凡ての店頭を破壞し器物及貨物は一として完全なるものなく又悉く奪去せる事
一、暴行后順川邑內の人民は一旦凡て逃走せしも普通人民は暫時にして歸宅せるに拘はらず商人側及耶蘇信者は一人も歸宅せざる事
一、慈山面に在る耶蘇學校の生徒も暴行に加はり盛んに教授を與へたる事

順川暴動の由來

別項記載の如く順川の暴動は全く排日黨の所爲より起りしものなるが其の茲に至りし由來を聞くに市場税は十月一日より實施されたるものなるも始めて徴税に着手したるは十二月九日にして當日は千五百圓以上の賣買なりしにも拘らず僅かに二圓の徴收を爲したるのみにて同月十四日の市場に於ては是又一圓二三十錢を徴收したるに過ぎず如斯税務署は十月より十二月に至る間は其の徴税の趣旨を一般に知らしめんが爲め約三箇月の日子を空費し以て徴税を開始したるものなるに市場の商人は連合して地方より來りし者を追返し市場を閉鎖すると同時に一面に於ては人民に對して官衙が新税を徴收する故市場を開かずとて煽動を爲したり依て財務署及警察署は飽くまで穩便の手段を取りて納税の延期を許すと同時に一方地方商人に相談の上開市すべきことを懇諭し漸く十二月中旬より開市を爲すに至りしも徴税を爲すことなく以て暴動の當時に至れり然るに先般暴動の爆發するに至りし時は財務署が市場の形勢を平穩なりと認め徴税を開始したるに當日は市場の管理人不在なりし爲め二三文乃至四五文宛の徴税を爲し僅かに四五十錢を徴收したるに日本商人の注進に依り市場の形勢不穩なることを知りたるに依り一同引揚げんとしたる折柄接長作鳳鎭、羅學奎、盧進瑞の三名は(以上三名とも主魁)早く市場を閉鎖せよと命令したるが時恰も十一時にして財務署員の引揚げんとするを追掛け來りて徴税の趣旨を明にせよと迫りたるより約二時間半に亘りて說諭を加へたるも更に聞入るゝことなく税金を返却せよ、市場閉鎖の損害を返せ左なくば打ち殺さんと叫び遂に此暴動を爲すに至りしものなりと、要するに今回の暴動は排日熱の熾んなる上に昨年以來警備の手を寛るめたるより事茲に至りしものなりと云ふ

退院後の李完用

李總理は退院前風邪の氣味あり昨十六日頃は大分快く熱も減じたれども尙ほ醫師の注告に依り訪客を延見し又は冷氣に觸るゝことを避け晝間は病室の蒲團の上に起き直り居れども毎日訪ひ來る五十名に餘まる見舞客には一切面會を謝絕し大臣連のみ病室に延きて面談し居れり別府又は東萊邊りへ入浴すべしとの說あるも目下辛うじて自ら起臥するが如き有樣なれば無論之等の事は未定なり食物は粥の外は普通と異る所なし總理は九死に一生を得兇行には餘程膽を冷したるものと見え正門內に更に小門を設くることゝし目下建築中なるが其用心堅固察するに餘りありと

兇漢の訊問進行

兇漢李在明に對する地方裁判所檢事局の訊問及取調の模樣は着々進行中なるが當局者の語る處によれば連累者の如きも二十餘名の多きに達し且つ犯罪系統も亦頗る廣汎に涉り居れば愈々之を完了し檢事の起訴に到るまでは尙ほ少からぬ時日を要すべし目下取調の進行程度は半ば以上に達し居れるも之が公判期の如きは起訴の上に非ざれば決し難し概して斯かる事件は調査の進行と共に局面の變改を來すものなれば現在の事實のみを以て之を測り難き由也

安重根と控訴權
(十五日統監府着電)

今日午後安重根の弟は從兄安明根及び安辯護士等と共に安重根に面會し控訴權放棄方を一時間に涉り交々忠告せしも安重根は尙熟考すべしとて躊躇し居れり禹德淳、曹道元、柳江露の三名は何れも刑の輕きを喜び今日控訴權を放棄せるが安辯護士は明朝出發歸國の筈

大韓協會の窮迫

大韓協會は曩に西北人たる鄭雲復を排斥したる爲め同會員三分の二を占むる西北人の激昻を買ひ脫會者續出し殆ど三分の一を失ふに至りたるを以て幹部連は大に焦慮し當業を誘致して之を防止せんとせしも應せざりしに依り更に朴泳孝を聘して會長とし黨勢の回復振興を計らんとし其意を通したるに朴も多少中央政界に色氣を持てる折柄とて食指稍動くものありたるも二三子の諫止に會ひて數日前斷然拒絕し來りたるを以て折角の計劃畫餅に歸し幹部は目下其善後策に腐心中なりと傳ふ

●土地調査區域限定

一千四百萬圓の資金を投して韓全國の土地を調査すべしとのことは屢次報道したるところにして其の着手期は來月より開始する豫定を以て去る十五日の參與官會議の議事に附せられたるものなるが其の調査區域は畓及宅地に止むる筈にて山林及荒蕪地等は調査せざる筈なりと元來此土地調査なるものは個人の所有權を確實にし賣買讓與の手續を簡明にするものなれば人民の側より云へば願ふても無き好事業なるにも拘らず往々誤解を來すことあり嘗て臺灣が清國の所領たりし當時に於て時の總督劉銘傳が非常の失敗を爲したることあるに付き土地の所有者は其の趣旨を誤解せざること肝要なりと云ふ

●釜山と京城の學校

釜山の現在學校は甲種商業學校、乙種商業程度夜學校、高等女學校各一、尋常高等小學校一、尋常小學校二にして小學校の現在兒童總數二千二百五十八人(學級數四十四)を京城の二千四百三十八人(學級四十三)に比すれば百八十人尠く毎年の增加數釜山三百乃至四百京城五百乃至六百なれば此の差は年毎に甚しかるべし尙同地は更に牧の島分教場を獨立せしめ四箇の小學校と爲すべき計畫を有せるやに聞及べり殊に高等科を一校に集中併置し他を凡て尋常小學校と爲せるは頗る研究に値する施設なりとす(廣田學部囑託談)

●公共市場取扱方針

從來韓國各地に於ける公共市場は認可取扱方區々に分れて一定せず爲めに諸種の惡弊を釀すことを患ひ今回農商工部に於ては其の取扱方法について統監府と熟議する所ありしが其の結果は兩三日中に發表せらるべしと云ふ

●地方局の事務分課

內部地方局にては今般事務分課規程を定め地方費に關する件は武藤事務官國費に關する件は佐藤事務官地理に關する件は林田事務官社寺に關する件は橫山事務官各主任となり局員一同科を分ちて執務することゝなれりと

●耶蘇教徒春季大會

平北宣川は韓國に於ける耶蘇教の最も盛んなる處なるが十五日春季大會を開きたるに相會する信徒一千五百餘名に及び頗る盛會を極めたるが尙當事者は三千の信徒を集むべしと言ひ居れり

各銀行の再利下

韓國側各銀行に於ける目下の金融狀況を聞くに倍々緩慢の趨勢に在りて預金は次第に激增し貸出は更に之に伴ふ能はずされば迚て現下の經濟界にては恰當の放資先を發見するに由なく各銀行は孰れも遊金の處分に苦みつゝありと故に近き將來に於て又々預金利率の引下を實行すべく近々其協議會を開く計畫ありと

敷地問題の解決

物議沸騰を極めたる第三小學校敷地問題に關する京城居留民會は十五日午後六時四十分より民團樓上に開催されぬ今其議事進行の經過を報道せん尙ほ當日の議案は左の如し

一、委員五名の建議に係る第二小學校分教場を四十三年度豫算に於て適當の地に設くるの件
二、第三小學校新設に關し民長提出の敷地及委員會提出の敷地の件
三、同上に伴ふ豫算追加及民團債償還繰延の件
四、追加案民團工事の執行、物件の賣買貸借に關する規則

第一案に就ては提出者中島議員詳細之を說明し滿場異議なく建議案採用に決し次いで本會の花問題たる第二案に入り山口議員先づ起ち委員會提出の理由を說き且つ中井敷地を選定したるに就き種々忌はしき風聞を傳へられたるを遺憾とし詳細辨明を試み秋吉議員亦委員會の經過を述べ且つ新聞記事に對し濫りに憤慨するの不利益なるを論じ石井議員次いで起ち既に一たび醜聞を傳へられたる以上は之を明かにするの必要あり故に本議案の議事中止を求めたるも遂に採用せられず第二讀會に進みたり然る處へ石井議員緊急動議ありと叫び新聞記事に對する調査委員を設けられん事を提唱す、閑、皆川兩議員交々起ちて其不必要を論じ一新聞記事の爲めに學期切迫せる重要問題を閑却すべからずと唱へ甲論乙駁頗る紛擾を極めたりしが此時議長休憩を宣し忽ち嘲笑の聲場に滿ちぬ九時四十分再會緊急動議に就き可否を起立に問ふ少數にて否決され是より兩敷地の利害得失問題に就き激論鼎沸し當會の注目議員たる山口氏滔々數百言中井敷地の櫻井町案に優る數等なる所以を論じ又同注目議員釘本氏詳細に之を駁擊し兩派の論戰變る〳〵火花を散らしたる末議長より採決の宣告あり此時石井議員より尙ほ一應實地見聞の上採決を望む旨動議を提出せるも一人の贊成なくして葬り去られ皆川議員採決を無記名投票に依らん事を求め贊成々々の聲四方に起り起立に問ふて之に決す投票結果左の如し

櫻井町案(原 案) 八 票
初音町案(中井敷地) 四 票

大多數にて原案を可決しぬ偶々初音町派の前田議員より櫻井町萬歲の聲叫ばれたり以下の第三、第四案は原案又は委員會修正案の通り一瀉千里の勢を以て可決通過し閉會を告げたるは午后十一時兎に角初音町派は假令少數にて敗れたるも論戰能く努めたるは多とすべく而して本會に見て屢次傳へられたる兩派の醜聞雲散霧消するを得しのみならず學校問題全く解決せしは祝すべし

●韓銀利子引下理由

韓國銀行は愈々來る二十日より金利二厘方の引下を爲し續て百三十銀行及十八銀行等も引下を爲すに至るならんが韓國側の銀行にては既に昨年末に引下を斷行したるが此現象は日本に於て一億萬圓の借換あり從來五分見當なりし金利は今後其標準を四分に取らざるを得ざることゝなりたるも猶ほ喜んで借換に應ずるの有樣にて金利は益々下落の一方なれば韓銀に於ても竝に金利を引下ぐるに至りしものなりしと

●暴動主動地と安州

今回市場税の事より惹起したる暴徒事件に就き多少不穩と認めらるゝ地方は暴動を演じたる順川を始め殷州寧邊撫市等なるが就中之が主因を作りたるは安州なる由にて同地は全く今回の市場税に關する不穩事件の根本となれる模樣なれば憲兵隊其他に於ても大に之に注意し爲に目下同地に多數の憲兵を增派し之が警戒を兼ね右に關する詳細なる調査に從事せしめつゝありと云ふ

●京城民團追加豫算

十五日召集の民會に於て可決したる小學校增設追加豫算は左の如し

歲入		
第一款	寄附金	二、五〇〇、〇〇〇
第三款	基金繰入	八、五〇〇、〇〇〇
歲出		
第五款	教育費	一〇、五三五、〇〇〇

●共進會の出品增加

福岡、名古屋兩地に開催せらるべき共進會韓國側出品は當局者の奬勵宜きを得たる爲め非常なる多數に達し今尙ほ續々出品物を送附し來る有樣なれば豫期より遙かに超過すべしと云ふ

●榊原憲兵隊長歸任

久しく平壤地方管下巡視の爲め出張中の憲兵隊長榊原少將は十六日歸任せり

●安島中佐の入京 關東都督府附安島憲兵中佐は十五日平壤一泊十六日夜入京する由なり因に各新聞に既に入京したる如く記載したるは誤なりと云ふ

●庵原課長の歸廳 釜山に於る水產組合團員總會より引續いて各地方の視察中なりし同撫政課長は十六日歸廳す

●山形分隊長歸隊 江原道地方管區巡視中の同京城憲兵分隊長十六日歸隊

●西高技師の入京 島根縣水產技師の同氏は一昨十五日入京浦尾旅館投宿

●金谷書記官入京 咸鏡南道書記官の同氏は一昨十五日入京浦尾旅館投宿

●中尾醫學士出發 全州警察署醫の同氏は滯京中の處十五日仁川に向ふ

●草場事務官歸任 平壤財務監督局事務官の同氏は一昨十五日歸任せり

龍山通信(十六日支局報)

木越第六師團長は新兵教育狀況視察の爲め十五日夜行列車にて釜山に向け出發せられたるが同地より更に北韓に出張の筈▲西韓に出張中なりし榊原憲兵隊長は十五日夜歸京せり▲十五日午後一時より十三聯隊將校は集會所に於て衛戍研究會例會開會出席者百餘名に左の講演ありたり

鴨綠江の戰鬪に就て 木越 中將
韓國の事情に就て 宗還 中佐
軍隊に於ける精神教育 大久保大尉

▲十八日午後六時より軍司令官邸に於て今回久留米聯隊に轉任を命ぜられたる香川旅團長安島間島駐在憲兵中佐の送別會を兼ね在京中の軍艦將校を招き饗宴を催さるゝ▲關釜聯絡船對馬丸は修理の爲め大阪に廻航中同地安治川口に於て他船と衝突し來月十五六日頃にあらざれば修繕出來上らざる程の破損を生じたりと

▲治外法權▼

一昨十五日の京城民會は例の小學校敷地撰定問題の爲め傍聽人も割合に多く新聞記者杯もポツ〳〵見受けた、それを知つてか山口議員が例の新聞記事に關して辨解を試み電通の牧山、川端兩君の名を十數度も繰返し傍聽席を顧みつゝ盛んに初音町說を主張したが無慘や案は大の少數で否決せられた▲誰れやらが京城の議員中では皆川君が一番雄辯家だと云ふて居つたが職掌柄不思議もないさ▲問題があれば京城の民會でも割合に盛んだドレ一つ叩き起してやらうかと言てる議員があつた▲龍山には經濟協會と云ふ美名の會が起つた、僅か仁川にも此樣な會が昨年の末頃出來た筈だが、其後餘り話を聞かない、龍山のもドーカ仁川式にならねばよいが▲曾禰統監は其誕生を祝ふ爲め過食して再び健康を害せられたと某社の通信があつた、韓國統監の御身分としてはドウモ外聞の善くない話した、併し記者は單に惡口として聞き流して居る▲前の橫綱大砲は力士として非凡の体格力量を備へ居りながら過食の爲め本場所の成績が何時も惡かつた、政治界の大立物曾禰子爵又過食の爲め任を曠ふす、そう云へば曾禰子と大砲とは幾分か似て居る處があると某氏は語つて居た。

巧妙な詐欺師（下）

韓裝の自稱少尉…新町桃山を引〆し…井門支店を舞臺…新町にて逮捕

是より先き似せ少尉の彼れ竹下喜三郎は去る一月廿五日新町遊廓第一樓本店に登樓し春野と云ふを敵方に二十七日迄居流して酒よ三味よと贅を盡して居たりしが元來好男子の竹下携て遊び方さへ氣の利き居るより女郎の方から惚れ込んで小使錢は元より大枚十五圓餘の博多の帶さへ買ひ與へ頻りと男の歡心を求め且つは内證の都合さへ可き程に云ひ置きしより一文無しにて斯くも居流の出來し次第なるが金の無い客にさう〱居流けを爲せ置く譯にも往かざれば愈々同日金圓と云ふ事になり前記竹下は統監邸の友人の許にて調達するとて小池と云ふ若者を引連れ第一樓を立出でて大和町統監邸門前に及ぶや人の外聞も惡ければと云ふ口實の元に同人を門前に待し置き自分一人にて這入り込み裏門拔けて馬鹿者がと冷笑ひして行方不明となりたりとは中々食へぬ曲者なり而も第一樓の勘定高は四十圓餘との事なるが是れも惚れたが罰の自業自得と云ふの外なし夫より彼は女に貰つた博多帶を入質なし其の金にて龍山桃山に駈け付け日曜樓に押し登り木曜と云ふ女郎を揚げ二十九、卅の兩日居續けなし同樓の手段にて同樓を拔け出すやあく迄大膽なる彼れは又もや新町遊廓に舞ひ戻り同廓皆春樓へ使ひ殘りの僅か二圓七十錢を懷中なして登樓し直樣親衛府杯へ聞鐵砲の電話を掛けて仲居等の信用を作り置き借玉春と云ふ女を揚げて晝でも一日朝迄居流して十七圓あまりの勘定は仲居に立替へしめ是れより金圓に行きて來るからとて車を呼ばしめ二階の階段を降りながら敵方の玉春に向ひ表面玄關から出て往くは極り惡き故裏口より出して呉れよと悄然として述べしより女郎もウッカリ乘せられて其儘裏より送り出したり話替りて玄關口の仲居に車夫は何時迄待つても出て來る樣子なきにぞ室の模樣を見に往きしに玉春女郎は濟した者で先刻裏口からお歸りとの言葉にソリャ大變と騷いで見たが跡の祭り尙御丁寧にも溫袍迄が一緒になつて裏口から逃げ出した樣子に一同オヤ〱と開いた口が閉がらざりしとは尤もなり是れより一週日を經過せし去る八日よりは昨紙記載井門支店にて仲居れ里をマンマと欺き窃み出せし文子の羽織を入質し其の金二圓餘を持て再び同廓淸月樓に登樓なしたる處を烱眼なる長野刑事に取押へられたるが尙餘罪ある見込にて取調中との事なるが煮ても燒いても食へぬとは這麼男の謂なるべし

縺れ糸

▽離緣狀が抑もの原因

當地大和町東洋學校の會計に仁子男時（三三）と云ふ男あり岡山縣出生の者にて三年前迄は大坂北區に居住母なるいし（五〇）と云ふは實母死去して後妻として迎へられし女にて父は四十年五月死去當時一家六人にて生計なし居たりし者なるが其の當時男時は未だ獨身なりし爲め知友なる大分縣生れ其の頃同區岩井町二丁目住の足立豐藏と云ふに兼々迎妻の相談を掛け置し處去る四拾年中大分縣杵築生れの武内たね（三七）と云ふがミシン稽古の爲め國元より來坂し前記足立豐藏宅に下宿せしより豐藏はこれこそ好配偶と早速男時に話せし處元々勝れたる美貌のたねとて男時も是非にと懇望し遂に豐藏が仲介となつて同年五月十日目出度れたねは男時方へ嫁入なしたるが聞くと見るとは大違ひにて元々仲介人豐藏の話にては男時は目下帶皮製造所の役人として一家も豐なりとの言葉を信用して入嫁なしたる者なるが今來て見れば朝夕の糊口にさへも差支ゆるほどの貧窮なるにぞ心中驚き一方ならざりしが既に一度嫁入せし事とて辛抱なし居たりしが家内は多人數なり到底貧乏には追つ付かぬより茲に夫婦相談の上渡韓と決し同年八月大坂より滊船にて仁川を經手を携へて來京なし一ト先づ妻たねの叔父に當る櫻井町住の同人宅へ轉り往き身の振り方を求むる内兼て知合なる統監府員何山某の世話にて借こう前記大和町東洋學校の會計係と云ふに採用せらるゝに至りしなり去るにても彼れ男時は月給二十七圓の内より感心にも月々十圓宛を大阪の一家に送金しつゝ先づ一兩年は波風もなく差向ひにて暮し居たりしが昨年六月突然親元より妹嫁入りの相談あれば歸阪せよとの電報に男時は不取敢歸阪の上樣子を聞けば右嫁入に就ては親族一同不贊成のみならず繼母いしが妹を虐待する由をも耳にせしより結婚談を取消して今度は妹同道にて歸京なし何事もなく暮し居たりしに世は泡沫の月に曇花に嵐昨年夏大阪大火にて親元は全燒となり一家四人の者は頼る邊を失ふと云ふ逆境に沈みしにぞ同年九月十五日同家引纏め一同渡韓來京なして男時方に同居なし居たりしが日數の經つに隨つて繼母のいしは徐々妻のたねを虐め始め聯て一日も風波の起らぬ日はなき次第となりたるより又もや夫婦相談なしれたねを產婆見習ひとして大阪へ遣はす事とし一つは一家の波を納め一つは今後夫婦共稼ぎの用意ぞと相談一決愈々れたねが當地を出發なしたるは昨年十一月の十九日なりし是れが抑そも男時一家の波瀾の因なりき（つゞく）

滊車の脫線

▽機關手一名重傷す
▽乘客に負傷者なし

一昨十五日午後九時廿分仁川驛着第六十四號列車は同驛構內に停車せんとしたるも機關車に故障ありし爲め運轉を中止し得ざるのみか車止を破壞して荷客車數輛を聯結したる儘一目散に運輸部橫手道路に躍出せし爲め機關車はメチャ〱に破壞され同時に次の無蓋貨車と激しく衝突し汽罐は破裂すると共に同車乘込の南大門驛勤務機關手久止影治（三〇）は右眼下及び頭に重傷を負ひたるのみならず顏と云はず手足まで蒸汽の爲め大火傷を受けたるが同列車は日本及平壤方面よりの乘客を滿載し居たる事とて一時其混雜は一通りならずアレヨと纖弱き婦人の如きは泣き出すものさへありたれど幸に乘客には何等の被害なかりしは不幸中の幸と云ふべし此報に接したる仁川署にては水野部長現場に急行し先づ前記負傷機關手を仁川病院に收容して應急の手當を加へたるが生命には別條なかるべしと

又々韓人の石戰

▽二千餘名の韓人群集

一昨十五日龍山署と西部北部の境に接したる北部外契倉同里に於て二千餘名の韓人が石戰を爲し居る由龍山署に通知する者ありしより竹部巡査部長は巡査八名を率ひ現場に驅着け追拂ひ其中の重立つ者四名を本署に引致せり

●昔と今の朴泳孝

▽大院君吐舌して驚く

馬山浦に在る朴泳孝の舊師某は語りて曰く朴泳孝は哲宗王（太皇帝の先帝）の女婿にして錦陵尉に叙せられたるは漸く二十前後の時なりしが朴は一日雞林八道に威を振ひたる大院君（太皇帝の父君）を訪ひたる處偶々名妓を聘し美酒佳肴を取寄せて今し嬬宴酣なりし時なるが朴の來訪を聞くに直ちに之れを其の席に招せり然るに太院君は他人を愚弄嘲笑するに妙を得又之れを以て快樂とするの人なりしかば朴を其の席に招したる後愛妓をして飜弄せしめたるに朴は怫然怒號一番席を蹶つて起ち襖を排して歸邸するや直ちに儀賓府（錦陵尉の役所の如きもの）に命じ大院君の宴に侍したる妓生を拘引し以て獄に投したれば流石の大院君も朴が此の擧に出でたるに吃驚し吐舌爲す處を知らず、噫！彼れが後世恐るべしと絕叫せしめたりと、抑韓國に於ては皇族にして官職に就くは古來類例なきことなるが朴泳孝は身駙馬にして顯職に就き廣州留守（郡守にあらずして郡守の如きもの）漢城府尹たりしも其の當時にて人をして彼れが後來の程を恐れしめたるに今や如何、有爲天稟は世の常ながら朴の末路又憐むべしと語りて頗る感慨に堪ぬざるものありしと

●貸借爭ひから氣絕

▽氣絕は癪の爲と判明

龍山元町四丁目住鳥取生れ大工職中野梅太郎（三三）は去三十七年一月中知人なる祝町三十七番戶松尾爲吉の妻せいといふに金少許を貸したるが足掛け七年の今日迄何の彼のと言延べて一厘も支拂を爲さゞるより流石氣の長き梅公も怺らへかねて此程手嚴しく督促せしにせいは本月十四日には必ず返金せんと約定したれば梅公先づ好かつたと喜びで十五日といふ日を待兼ねて受取りに出懸けたり然るにせいは梅公の顏を見るや否や金は無いよ夫れが氣に入らずは勝手にせよと怒鳴つたり此に於て梅公かつと怒りせいを上り框より突落したるにせいは打所惡しかりけんウンと一聲悶絕せり梅公吃驚して唯ウロ〱と座敷中を步き廻りて居る中近所の人の訴へに依り龍山署より巡査部長が醫師を伴れて出張し手當を爲さしめセイは蘇生りたるが醫師の診斷にてセイが卒倒したるは癪の爲めと判り梅公ホッと安心はせしものゝ其まゝでは濟されず警察に引かれて散々叱られて引下がれりとは梅公少々步が惡るし

●火災後の遺留品　仁川出火の際所有主不明の行李三個疊三枚襖一枚其他雜品五點を宮町派出所に保管しあれば心當りの人は同所に就て現品を見らるべし

●花月の新參妓　原籍三重縣桑名郡桑名町平民伊坂いそ二女伊坂きくと云ふは之れ迄名古屋市にて盛んにキャーモを根り廻して左褄を取り居たりし女なるが此度當地花月の抱ゐとなり藝名も以前のまゝの若奴と名乘りて本晚より御座敷に、芳紀は正に二十一歲何れ助連の涎の種の美人でムんす

●日淸人の掴み合　仁川新町二丁目石橋平次郎（三九）は一昨日新町に於て武克垣（三二）と云ふ菓子賣の淸人と掴合ひ說諭を受く

●古自轉車を拾得　南大門通り二の二十一番戶菓子商伊藤茂三郎と云ふは昨十七日午前一時頃古自轉車一輛を拾得したる旨屆出づ

●一昨日の新町　一昨日の新町遊廓登樓客は九十四名にして其の消費金高は四百七十一圓九十錢なり

●歌舞伎座　同座本晚の替り狂言は「瀧の白糸」の通し物にて小泉が獨特の技を以て女主人公水島トモに扮し村越欣哉を田宮が勤むる由なれば面白かるべし

●壽座の桃中軒　同座桃中軒星右衞門本晚の語り物は次の如し
倉橋傳助生立より勘當まで
同淺野面前騎射の譽
四條畷（筑前琵琶）　霞州

雄基沖の鳥島

▽百四五十萬圓の價値

韓國釜山寶水町に在留する愛媛縣北宇和郡岩松村の國松湿奇智氏は兼て北韓を踏査中であつたが今回日本海に珍しい鳥島を發見した同氏は一昨年浦鹽に赴いた際圖らず韓人が每年何處よりか夥しい數の卵を韓船數隻に滿積して賣りに來るのを見て段々出所を調べて見た處僅に北韓方面とのみで判然しなかつた其後北韓沿岸を限なく調査して昨年二月端なく雄基灣の沖合十哩の處に孤立する卵島といふ一小島に多數の海鳥が棲んで居て每年夥しい產卵があると云ふ事を聞込んだので直ちに雄基より舟を出して同島を踏査した處果して事實であつた全島殆ど鳥の糞を以て蔽はれて居る意外の光景を發見したそこで國松氏は見本を採つて農科大學の山縣博士に分析して貰つた處南洋のオーシヤン島其他より本邦に輸入する燐礦肥料に遜色のないといふ好成蹟を得て同年五月韓國政府に出願せんと準備中意外にも他に同島の發見者が現はれた夫れは尾瀨延太郎といふ人で曾て南洋探險をして去三十一年琉球の南方ピンナクル、アイランドと稱する南洋の無人島に鳥類の群棲するのを發見し自ら琉球士人二十名を率ゐ同島に渡り家屋を建て碇泊港を築き此孤島に居ると十有三箇月饑渴に迫り海嘯のため家屋を浚はれなどして漸く身を以て逃るゝ等艱多の辛酸を嘗めて燐礦と鳥毛の採取を遂行し傍はら四個の群島を跋涉して大日本領島の標柱を建て實測の結果を地學協會に報告して斯界を裨益した靑年冒險家であつたそこで兩氏は共同經營の事業とした島の周圍は約三哩高さ海拔三百尺中央に鞍部があつて僅の雜木を生じてゐる鳥類は白鳥、信天翁、鷗其他十二種で此等の鳥糞は何千年來累積して燐礦を形成して居る發見者の見積は約二萬噸と云から平均七十圓としても百四五十萬圓の價値ある譯だ產卵期に卵取りに往つた韓人の實見談に依ると一隻に四人乘組んで三人は群鳥を追ひ拂ひつゝ一人は採取にかゝるさうで每年韓船數隻に滿載する程の收獲があるさうな此島は鳥糞の爲に變色して居るから霧中又は雨中には直ぐ附近を通つても所在が判明せぬことがあるので航海者は一名幽靈島とも呼んでゐるとの事だ

●繁榮會の懇親會　京城聯合繁榮會にては昨十六日正午より京城ホテルに於て懇親會を催したるが會する者二百餘名先づ池田委員の起つて開會の辭を述ぶるや藤屋雜貨店主之れに答辭し聽て宴に移り散會したるは三時頃にして頗る盛會なりしと

吉凶

本町五丁目　三一館判斷

二月十七日　舊正月七日　●二黑先勝　癸丑　●閉　●一白　●保證呼印を禁ず　誹謗中傷に　●わふあらん　△二黑　厄運の日なり盜害

美術半襟帶締其他紐類各種
京城明治町 電話一千四百〇九
ゑり徳商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●望上女中 十五六歳の女子高等官舎上女中見習たし俸給望ます 氏名在社(八)

●店員雇入 十四五歳の者希望者來談あれ日の出町下山商行(電一〇〇七)

物件部

●貸家 西大門内舊國領事館跡六疊三疊四疊半並に炊事場付格安に貸したし問所清水方へ

●電話讓渡又は貸付 九〇〇番直接面談に限る 本町四 賛化堂藥店

●老舖讓渡 本町一丁目目拔の場所多年資込し雜貨店主人實家相續の爲め歸國に就き居拔の儘至急讓渡したし 旭町一の六〇 山村

●貸家 南大門外吉野町一戸建間數三間家賃十七圓外に長屋總もあり淸車電車に近く出入便希望の方は電話七四番

●きかい(?) 水原町二三丁目にて貸家を求む男一人温突ならば最佳 氏名在社

●繪葉書讓渡 日韓未使用紀念繪葉書安價讓渡たし 氏名在社(九)

廣告

診察時間改正廣告
二月一日より松村先生の診察時間を左の通り改正す
自午前九時至正午
但他は從前の通り
龍山榮町(電話六〇三番)
龍山醫院

龍山元町二丁目
佐藤病院
電話一〇三番

入院隨意
内科 小兒科 眼科
龍山新市街山下町
原醫院

入院隨意
内科外科小兒病梅毒淋病
京城壽町三丁目
高井醫院
電話(二一六)
院長陸軍軍醫正 高井貞治

入院隨意
京城壽町三丁目(電話三七八番)
中島醫院
院主醫學得業士 中島貞信

上等石炭各種
並に無煙炭販賣
京城本町二丁目
林田交換所
電話六十五番

東京足袋
本店東京
京城大和町一丁目(日の出橋際)
大和屋 藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

きゝめのある温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり
京城本町一丁目郵便局前
貸席 鐵冷温泉
電話千四百十一番

●唐津石炭直輸入商
並ニ平壤無煙炭あり
京城太平町一丁目五 南大門停車場通り
近藤商店
電話八百三十五番

醫學士北村一等軍醫正(呼吸器病及消化病擔任)を名譽院長とし其他院長以下各科分擔一般の診療に從事す
但し名譽院長出診は毎偶數日(丁日)午後とす
病室落成 入院隨意 貧民施療
贊化病院
本町四丁目
電話二四番

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウオルサム時計 米國アンソニヤ時計 韓國特約販賣店
獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店
時計卸商 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店 電話七〇番
時計卸小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話千十五番

生儀多年福岡醫科大學皮膚科教室(皮膚病黴毒泌尿生殖器科)教室に奉職の處今般辭職左の處に開業專ら皮膚病黴毒痳病膀胱病(生殖器機能障碍)の診療に從事
診療(午前自八時至十二時)(午後自二時至九時)
入院隨意
南大門通三丁目
電話一七三番
支那領事館前通郵便局横
院主 佐藤伊[illegible]
佐藤皮膚病院

荒物世帶道具一切
大阪製白絞油和洋蠟燭和傘岐阜提灯魚釣道具卸小賣
地方在住の御客様には御申越あり次第代金引替又は代金引替小包郵便を以て御送付申上候尚藥店業者目錄御入用の御方は御通知あり次第送呈申上候
荒物世帶道具 各國酒類諸油 米穀 銘酒澤龜 アサヒ麥酒 サッポロ麥酒 並に買次業
京城本町六丁目
西崎嘉七本店
電話長二一〇番(二番又は三)
振替貯金口座東京(九四一七番)

辯護士 特許辯理士
京城明治町二丁目(佛國教會前)
岩田仙宗
電話三五四番

石川高等法院判事閲 中村内部警務局長閲 日韓印刷株式會社編輯部編纂
◎印刷鮮明 ◎類集整然 ◎校正嚴密 ◎携帶便利
統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要
全一冊 菊判紙數六百頁 ◎背皮金文字表裝形 定價金六十錢
右は統監府以下各官廳の必要法規を網羅し日常事務の參考に供せんが爲め編纂し官廳及官吏諸君の好評を博し目下非常の賣行を以て販賣致居候而して更に今回増補改訂を加へ尚ほ一般の便を謀り販賣致候間御注文の御方は至急御申込被下度候
明治四十二年十二月一日
京城
日韓印刷株式會社出版部

改修落成と電話開通
久しく改修中の處漸く落成仕候間不相變御最負の程願上ます
京城旭町二丁目(名古屋城横へ入る)
待合 醉月
電話二六五番

資本金 一千萬圓
積立金 五百四十萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
電話一一番 六一一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
本店 東京市日本橋區兜町
支店及出張所 大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大坂町(東京)、兵庫、伏見、西陣(大阪)、釜山、
其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

特約販賣 自製 味噌 醬油 漬物 卸問屋
京城本町五丁目
大上商店
(電話二五一番)
和洋酒、酒精、酢、穀物類、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、辛、日本食鹽各種特約販賣倚御望に依り商品切手調進仕候

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ(紹介ヲ要セス)
京城旭町二丁目六十七番戸
辯護士 岡田榮
(電話三九八番)

外科 内科 梅毒痳病專門
京城御成町南大門外一丁南
●入院隨意
戸田病院
●電話番號九三八番

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候
御客様に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義も可成從來よりも一層勉強可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館
(電話一一五番)

御待合 紅葉
京城南大門通三丁目光宣門側
電話一三八二番
位置の適當なるは御出入に御便利に御座候御取扱を懇切に御手軽を專一と心懸け候

熱 京城 牛乳 [illegible] 牧場

綿わた綿ワタ
(たやすくうります)
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類
京城明治町一丁目四ツ角
卸問屋 唐川商店
電話二六一番

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾五萬圓
京城南大門通
株式會社 十八銀行京城支店
(電話四二〇)
本店 長崎市築町
支店 出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山、大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
韓國 日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日歩壹錢四厘)
長崎貯蓄銀行代理店
(十八銀行京城支店)

★株式會社 百三十銀行京城支店
京城本町二丁目十五番
電話五十八
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野
東海道 住吉、茨木、下市、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪、東京、横濱、大磯、甲府、靜岡
東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、土崎、高崎
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、飯山、柄、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干
南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ケ濱
西海道 尾道、廣州、本、撫養、德島、善通寺、久留米、若津、中津、小倉、門司、若松、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南
淸韓國 仁川、釜山、元山、鎮南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、尙州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

日本郵船株式會社 瀛船出帆廣告
仁川代理店 電話十番
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 電話三九番
郡回漕店
●釜山、長崎、門司、神戸行 山東丸 二月 日後三時
●大連行 相模丸 二月十五日正午時出
●大連、太沽行 山東丸 三月二日午前六時出
●大連、太沽行 西田丸 三月 五日正午時出
●釜山出帆 元山、淸津、浦鹽行 神丸 二月十六日午後時出
御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事